

DMR-UBZ1 による DVD 鑑賞(1)

1. はじめに

DMR-UBZ1 については、DMR-UBZ1 の導入シリーズ、DMR-UBZ1 の活用シリーズおよび DMR-UBZ1 の展開シリーズで報告してきました。その後、さらに種々の対策を実施した結果、DMR-UBZ1 による再生の音質が良くなっていることから、改めて手持ちの DVD を集中的に聴いていくことにしました。

2. DMR-UBZ1 による DVD 再生方法

DMR-UBZ1 による DVD 再生は、下記のような一連の対策の結果、音質が向上していることが、[Nordost CD の TRACK11～TRACK13 試聴および関連試聴報告](#)において確認されました。

一連のアキュライザーファミリー

USB ダンパー

Magnetic Wave Guide

TruPhase

Brooklyn DAC+から 300B アンプまでのバランス化

このことから、改めて手持ちの DVD を集中的に聴いていくことにしました。試聴経路は、DMR-UBZ1 の録画再生、BPODCH、YouTube などの再生と同様です。

今回は、下記の DVD ソフトを視聴します。

TDK TDBA-0013

バッハ ロ短調ミサ曲

ゲオルグ・クリストフ・ビラー指揮ライブチッヒゲバントハウス

ライブチッヒ聖トーマス教会収録 (Live)

TDK TDBA-0003-4

バッハ クリスマスオラトリオ

ジョン・エリオット・ガーディナー指揮

イングリッシュバロックソロリスト

ワイマールヘルダー教会収録 (Live)

3. DMR-UBZ1 による DVD 再生結果

ロ短調ミサ曲は、天井の高い聖トーマス教会での収録で、オーケストラも合唱団もソリストも 2 階の聖歌隊席での演奏です。合唱団の女声のパートは少年合唱団が務め、アルトもカウンターテナーです。天井が高いただけあって、残響音が豊かで、ソリスト

の声も、弦楽器と管楽器の音も柔らかく響きます。腕白盛りの少年達が懸命に歌っているのもほほえましく、この構成の壮大なミサ曲の演奏の一翼を担っています。クリスマスオラトリオは、由緒ありそうな小規模の教会の収録で、アンサンブルも合唱団も少人数の構成です。小規模の教会ながら、残響音が豊かで、ソリストの声も、弦楽器と管楽器の音も柔らかく、よく響きます。特に、バロックオーガエやナチュラルホルンの質感もよく出ています。ガーディナーの穏やか表情で抑揚のある指揮がリードしています。エヴァンゲリストのテノールは、右側高所の説教壇からの歌唱であり、高めの位置に聴こえます。

4. まとめ

比較的大きな教会と小規模の教会収録でしたが、ともに残響音が豊かで、柔らかい響きが心地よく、曲の雰囲気をよく表現していました。

以上